

プログラム参加報告



かわみつ ことみさん

私は、在沖米軍基地の役割を理解すること、そしてそれを活かした沖縄での将来性や発展性を考えること、国際的なネットワークを築くことの3つを目的として、今回のプログラムに参加しました。

現地では、外交の最前線でお仕事されている方からお話を聞く事ができ、貴重な体験や思い出、新たな知見を得ることが出来ました。それと同時に、沖縄県内はもちろん、国内外において、日本の安全保障における米軍基地の重要性や、沖縄の生活の現状、県民の思いなど理解が深まっていきたいという課題があると感じました。

私にできることは、米軍基地を有することを沖縄の強みとして、交流を増やすこと、そして今回の経験を発信することではないかと考えました。今後は、基地内での交流イベントの開催やポッドキャストによる発信を行い、国際的な繋がりを広げることが目指します。

本プログラムを通して、参加者を始めて、表敬先の方々や交流先の学生など様々な人と出会い、交流することができて非常に貴重な機会となりました。参加して本当に良かったと強く思います。すべてのプログラム関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



おおどり ここ 大泊 心寧さん

3月に、TOFU(Think of Okinawa's Future in the United States)プログラムに参加させていただきました。本プログラムでは日米の外交に携わる様々な立場の方からお話を聞く機会が得られ、沖縄や日本とアメリカの関係性について深く考える事ができました。

現在の日本の安全保障環境は想像以上に厳しい状況にあり、沖縄に基地があることは、東アジアにおける中国の脅威などに対処するために重要な役割を果たしていることが分かりました。個人的な考えとしては、沖縄から基地を無くすことは安全保障上現実的なことでなく、むしろ平和を守っていく上で必要なことだと感じました。しかし、沖縄の基地負担は決して軽いものではなく、安全保障とのバランスは今後も思案していく必要があると感じています。

最後に、元々私は英語が得意でも話せるわけでもなかったのですが、好奇心のままに挑戦してみることで一生に一度の素晴らしい体験と、尊敬できる仲間に出会うことができました。何かに挑戦することは、とても勇気のいることです。自分自身の人生に絶対にプラスになります。このような非常に充実したプログラムに参加させていただきありがとうございます。



な か ま はるな 名嘉真 遥音さん

今回TOFUプログラムに参加させていただき、貴重な経験をさせていただきました。東京、アメリカ研修を通して、沖縄の基地問題や日米関係を動かしている方々に直接疑問をぶつけられたことや、日米沖それぞれの立場を学べたことは自分自身の成長に大きく繋がったと感じています。

特に印象に残っているのは、沖縄にある基地の存在、日米安全保障条約や日米地位協定についてのアメリカ政府の方のお話です。沖縄に基地があることの地理的な重要性や辺野古への移設についてもお話を伺うことができ、理解できる部分もあれば、正直納得できない部分もありました。しかし、その全てが自分で沖縄について考え、これからの行動を模索するという成長に繋がったと感じています。

お話を伺ったアメリカで外交官として働く沖縄出身の方の、沖縄出身者が言うからこそ響くものがあるという言葉もすごく印象に残っていて、この研修終了とともに完結したものとするのではなく、これから沖縄の未来を創っていくのは私達だという自覚を持ち動かしていく存在にならなければならぬと強く思いました。

今回の研修の成果を発信し、新しい学びとその学びからの思考を大切にしながら社会に貢献できる存在になりたいです。



第6回「アメリカで沖縄の未来を考える(TOFU)」プログラム参加報告

プログラム日程 (主な訪問場所)

- 3月19日(東京)
外務省・在日米国大使館・首相官邸
- 3月20日(ワシントンDC)
在米日本大使館
- 3月21日
国防省・コロンビアハイッツ・エドゥケーションショナル高等学校
- 3月22日
米国連邦議会・戦略国際問題研究所・国務省
- 3月23日
ジョージタウン大学・米国内移動
- 3月24日(ニューヨーク)
ニューヨーク市内視察
- 3月25日
在ニューヨーク総領事官邸・国際連合日本政府代表部・国連ツアー
- 3月26日・27日
帰国

外 務省による海外派遣プログラム(TOFUプログラム)※が、令和6年3月19日〜27日に実施されました。第6回目となる今回、本市からは市内在住の高校生・大学生(当時)3名が参加し、ワシントンDC、ニューヨークを訪ね、日米関係に携わる実務家やその他国際社会で活躍する有識者への面会、各種機関の視察等から得た日米関係に対する現場ならではの認識に基づき、沖縄その他社会の思索を深める貴重な契機となりました。

※TOFUプログラムとは「アメリカで沖縄の未来を考える(TOFU: Think of Okinawa's Future in the U.S.)」プログラムの略称。沖縄の将来を担う高校生・大学生を米国に派遣し、米政府関係者との意見交換や米国の代表的な歴史・文化施設等の視察を通じ、語学としての英語力向上を図るとともに、英語を用いて様々な分野について学ぶ教育機会を提供するとともに、よりグローバルな視点を深めてもらうことで、国際社会で活躍する沖縄の人材育成を行うことを目的としています。

- ①現地学生との交流 ②米国連邦議会訪問 ③林芳正官房長官表敬 ④在米日本国大使館訪問 ⑤在日米国大使館公使、在日米軍副司令官、外務省北米局参事官との懇談 ⑥在ニューヨーク総領事表敬 ⑦ジョージタウン大学訪問



お問い合わせ先：基地渉外課 ☎893-4411 (内線5212)